



# 越前おおの

## 報道資料

【発信日】令和2年8月25日

【問い合わせ先】

大野市役所（1階 9番窓口）

産経建設部道の駅推進課 常見、五十川、飯田

電話 0779-66-1111 内線 1404

### 道の駅「越前おおの 荒島の郷」について

～施設の設置条例案及び指定管理者の指定議案などを提出～

令和3年度早期のオープンに向けて施設を整備している道の駅「越前おおの 荒島の郷」は、順調に工事が進捗しており、管理運営に関し、かねてより指定管理予定者の中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社と進めてきた準備が整ったことから、施設の設置について必要な事項を規定する施設の「設置条例案」と管理運営者を正式に決定するための「指定管理者の指定」議案などを市議会9月定例会に提出します。

また、施設内の物販・飲食テナントの出店事業者も決定し、商品の陳列、飲食スペースなどのレイアウトを確定できたことから、道の駅の管理運営に必要な備品の購入経費などを計上した「補正予算案」も本定例会に提出しています。

今後も多くの観光客などが心躍らせ訪れていただける魅力ある道の駅を目指し、指定管理者、県内初出店となる大手アウトドア総合ブランドのモンベル及び各テナント事業者などと連携し、一丸となってオープンに向け準備を進めていきます。

### 記

1 関係資料 別紙のとおり

# 道の駅「越前おおの 荒島の郷」について



道の駅

# 越前おおの 荒島の郷

Echizen Ono Arashima no Sato

## 目次

1	設計の諸元	1
2	施設配置計画	2
3	中心的機能	3
4	平面計画	4
5	道の駅の管理・運営	5
6	地域振興施設平面図	6

# 1 設計の諸元

## (1) 建築概要・建物面積表・位置図

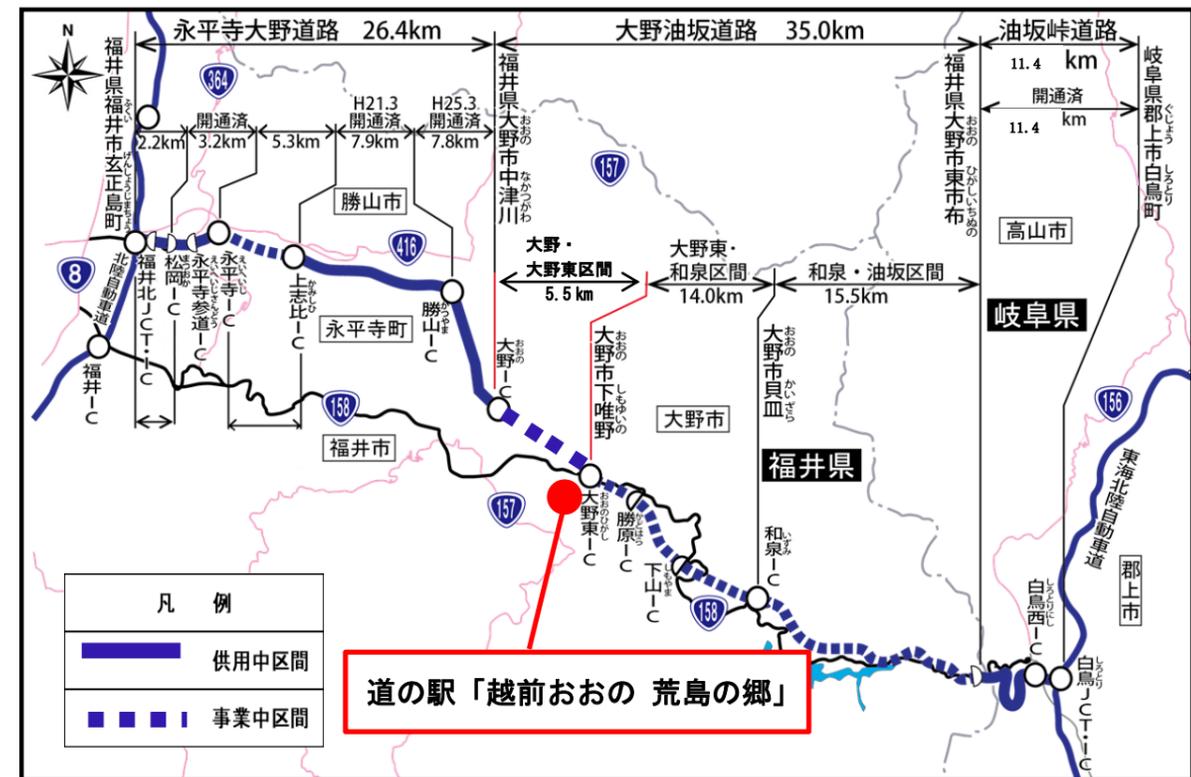
### 1 建築概要

主要用途	商業施設、公衆用トイレ
構造	鉄骨造
建築面積	5,526 m <sup>2</sup>
延床面積	5,082 m <sup>2</sup>
階数	1階
最高高さ	8.2m
法定建ぺい率	70%
法定容積率	200%
用途地域	指定なし
高度地区	指定なし
防火地域	指定なし
その他地域地区	角地緩和により建ぺい率プラス10%
建築費	2,135 百万円

### 2 建物面積表

施設名	延床面積
道路管理施設	297 m <sup>2</sup>
道の駅	4,785 m <sup>2</sup>
地域振興施設	1,965 m <sup>2</sup>
地方創生施設	1,258 m <sup>2</sup>
屋外交流広場	418 m <sup>2</sup>
その他、付帯施設	1,144 m <sup>2</sup>
合計	5,082 m <sup>2</sup>

### 3 広域位置図



### 4 位置図



## 2 施設配置計画

### (1) 建物の配置について

福井県の東の玄関口となり、地域外から大野市へ人を呼び込む「ゲートウェイ」としての機能を持たせるため、国道 158 号から乗り入れ時に建物が正面に視認でき、隣接する旧蕨生小学校施設との連携した取り組みが可能となるよう敷地の南側に配置します。

### (2) 駐車場の配置について

駐車場は、施設利用者の安全性を確保するため、小型車と大型車の動線が交差しないよう、大型車駐車場は北側（入口側）に、小型車駐車場は南側（建物側）に配置します。また、建物の近くにハートフル駐車場と自動二輪駐車場を設置します。

### (3) 来館者のアプローチについて

ハートフル駐車場を設置し、障害者や高齢者などすべての人を駐車場から建物へ安全に誘導するため、建物正面の中央にメインアプローチとなる通路を設けます。メイン出入口では、底に加え、前に屋根付き通路を設け、来館者が雨に濡れないよう建物へと誘導します。

### (4) バス停留所について

来館者を市内観光への誘客につなげるため、駐車場内に市営バスや高速バスの停留所を設けます。

### (5) RVパークについて

道の駅敷地に入る北側には、国内最大級となる 10 台の利用が可能なキャンピングカーユーザー向けのRVパークを整備するとともに、道の駅の顔となる緑地帯を配置します。

### (6) 電気自動車の急速充電設備について

電気自動車用の急速充電設備を 2 基設置します。

### (7) クライミングピナクルについて

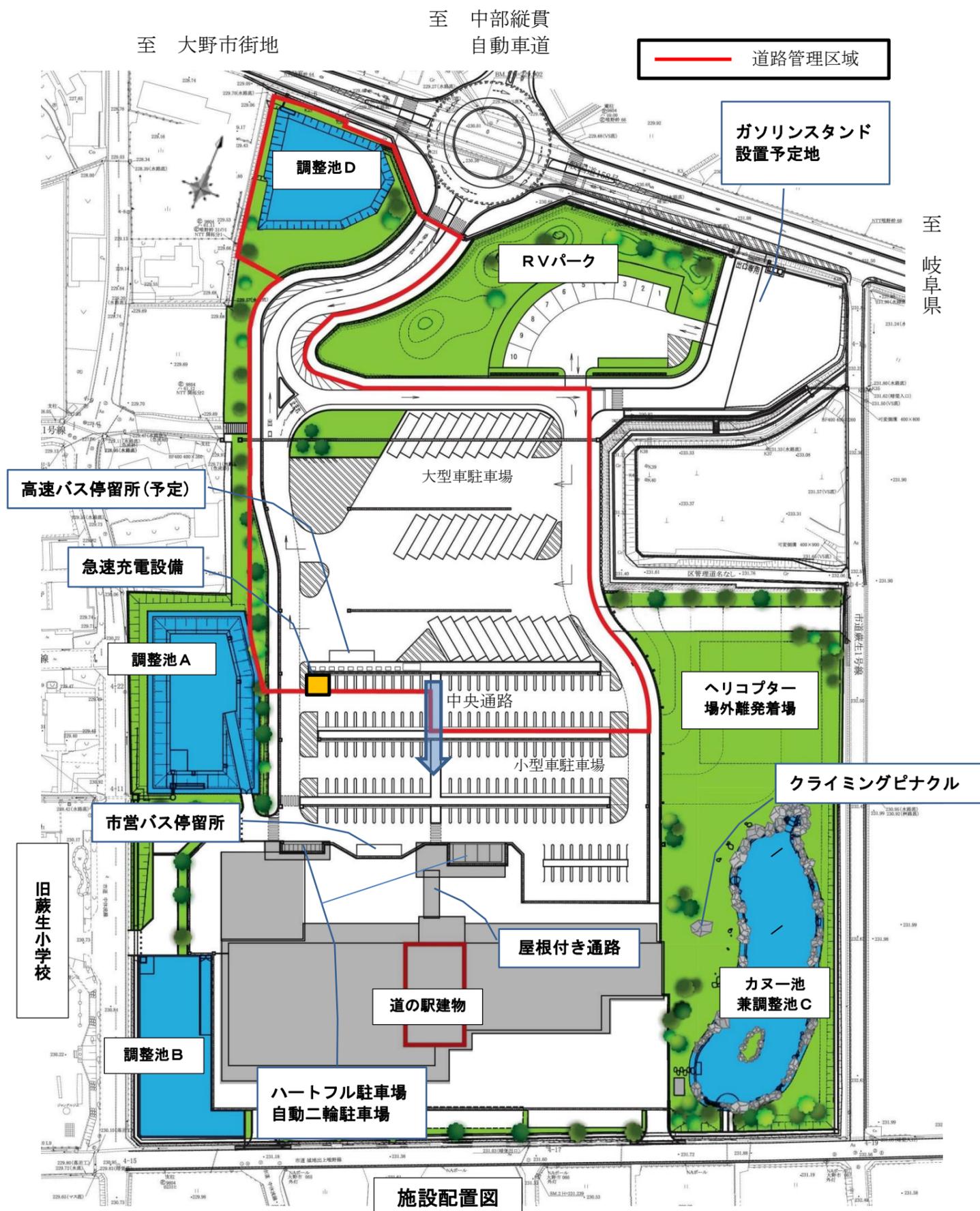
クライミングが体験できる施設を設置します。

### (8) カヌー池について

調整池を活用し、カヌーが体験できる施設とします。

#### 敷地概要

建築地	福井県 大野市 蕨生地係
敷地面積	49,137 m <sup>2</sup> ・市整備面積 35,849 m <sup>2</sup> ・県整備面積 13,288 m <sup>2</sup>
駐車台数	・小型車 169 台 ・大型車 33 台 ・ハートフル 4 台 ・自動二輪 10 台



### 3 中心的機能

#### (1) 越前おおのが育んだ食の市場

「大野市道の駅産直の会」による大野市の魅力ある農林産物や地場産品などの直売所への安定的な供給や、大野産食材などを使用した飲食コーナーにより、道の駅内で、大野市内の多彩な「食」を市民や観光客に提供します。

#### (2) モンベルと拓くアウトドアの拠点

アウトドア用品の製造・販売やアウトドアイベントの企画運営を行うモンベルが道の駅内に福井県内で初出店します。大野市の恵まれた自然をモンベルとともに最大限に活用することで、アウトドアスポーツやレジャーの支援の拠点とします。

#### (3) 名水と城下町をはじめとする観光案内所

「名水と城下町」に代表されるまちなか観光や豊かな自然があふれる六呂師高原、九頭竜湖周辺などの回遊性を高める取り組みを行います。

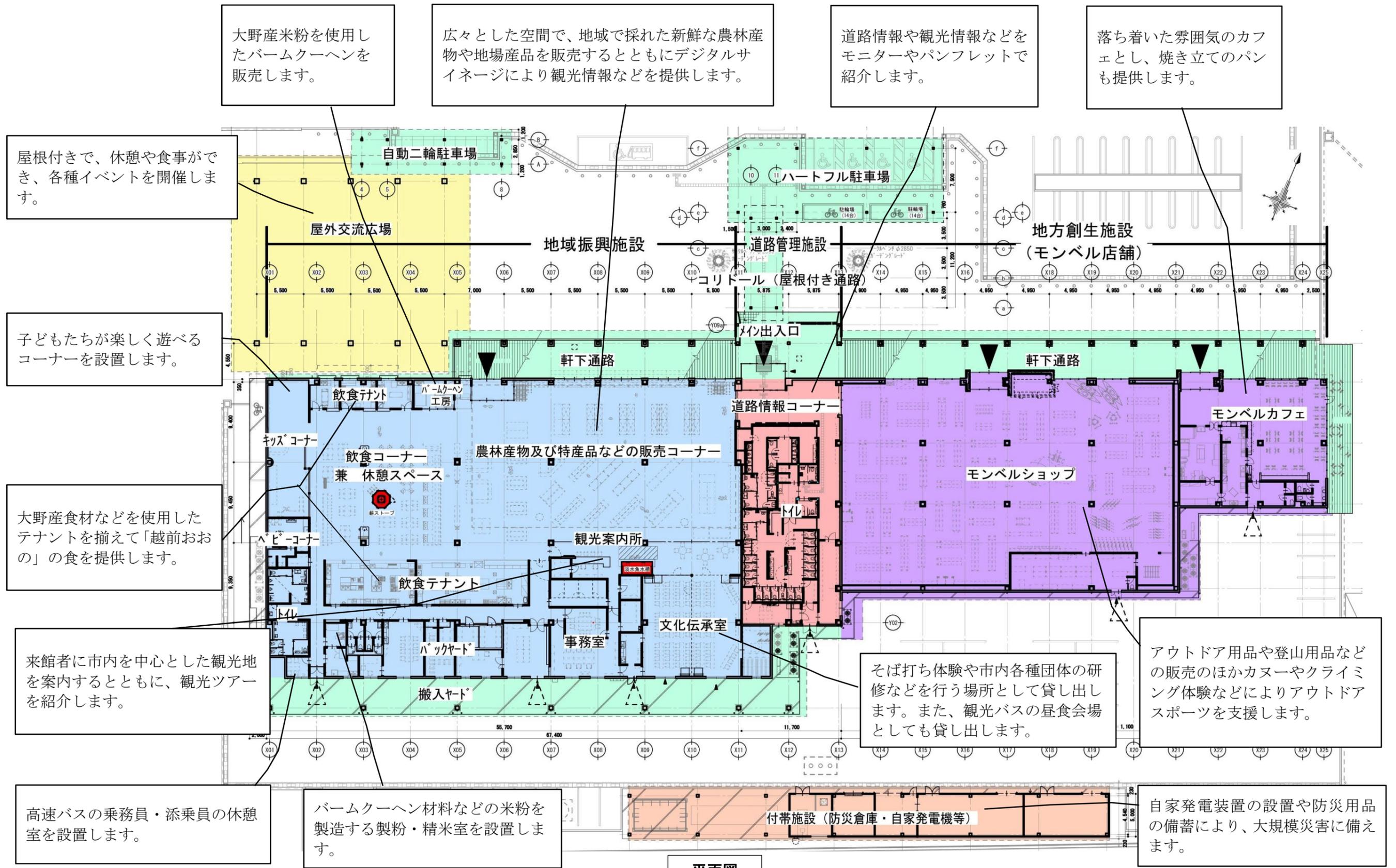
#### (4) 大規模災害に備える防災拠点

南海トラフ地震などの災害時に、関係機関やモンベルと連携し、被災した地域を支援します。また、大野市が被災した場合は、一時避難所として地域住民を受け入れるほか、他地域からの受援に備える拠点とします。



外観パース

# 4 平面計画



平面図

## 5 道の駅の運営・管理

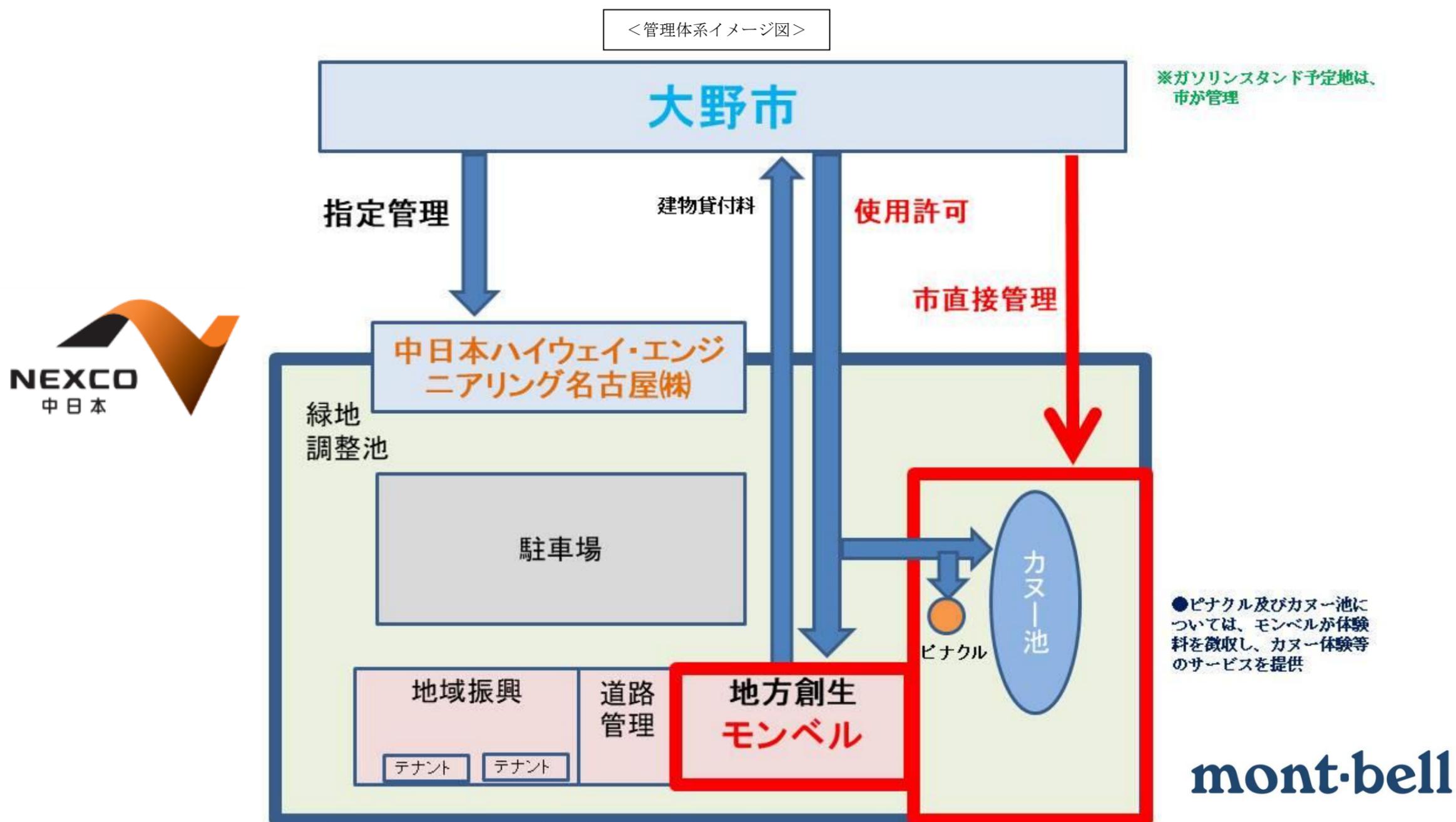
道の駅のうち道路管理施設及び地域振興施設並びに駐車場及び緑地などの管理を、平成29年度に実施した公募型プロポーザルにより採用者となった中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋（株）に総合的に委託します。

同社は高速道路やサービスエリアの管理経験を生かし、全ての施設を清潔かつその機能を正常に保持し、来場者の安全かつ快適な利用が図れるよう維持管理の最適化を行います。

指定管理者は、直売所やテナントなどを全体的に管理し、運営を行います。

また、越前おおのブランドを生かし、大野産米を加工した特産品の開発により、地域経済を活性化し、消費拡大を推進するため、直営事業として大野産米粉を使用したバームクーヘンを製造・販売します。

なお、地方創生施設及びカヌー池やクライミングピナクルなどについては、市の直接管理とし、使用許可によりモンベルが出店し、運営します。



6 地域振興施設平面図

